

*Luxman*

HEADPHONE AMPLIFIER

P-1u

*Owner's Manual*

このたびは、ラックスマンのヘッドフォン・アンプリファイヤー P-1uをお求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこのオーナーズマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただくことで本機の性能が十分に発揮され最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただけることと思います。

なお、お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

## 目 次

使用上の注意 .....	1
各部の名称と用途 .....	2
接続方法および接続図 .....	4
P-1u BLOCK DIAGRAM .....	6
規 格 .....	7
アフターサービスと品質保証について .....	8
修理に出される前に .....	9

---

## ■使用上の注意

### アンプの置き場所について

換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。

とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

### 入力機器接続時のご注意

本機にCDプレーヤーなどの入力機器を接続するときには、本機と入力機器の電源スイッチを必ず切っておいてください。電源が入ったまま接続すると、大きな雑音が発生することがあり、耳に傷害をおよぼす可能性があります。また、本機の入力端子に差し込むピンプラグはしっかりと差し込んでください。CDプレーヤーなどの入力機器の出力端子に差し込むピンプラグも同様です。ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N比が悪化する原因になります。

### 保護回路について

本機にはアンプやヘッドフォン保護のため、過電流検出、異常高温検出、DC出力検出による保護回路を設けています。この保護回路が動作した場合、ヘッドフォン端子への出力を中断するとともに、オペレーション・インジケータが橙色に点灯し、本機がミュート状態に入ったことを表示します。保護回路が動作した原因が消滅するとオペレーション・インジケータが再び青色に点灯し、動作状態に復帰します。保護回路がたびたび動作するときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

### 電源オン後すぐには音は出ません

本機にはヘッドフォン端子への出力を中断するタイム・ミュート回路が組み込まれているため、電源オン後すぐには音は出ません。

ミュート中に本機のボリューム・コントロールやCDプレーヤーなどの入力機器のボリューム・コントロールを大きく右に回していると、タイム・ミュートが解除され動作状態になったとき、急に大きな音が出てくることとなります。ボリューム・コントロールは必ず小さく絞っておき、ヘッドフォンから音が出はじめてからお好みの音量にセットしてください。

### ヘッドフォン・プラグの抜き差しについて

ヘッドフォン・ジャックの構造上ヘッドフォン・プラグを抜き差しするとLch出力とRch出力がショートされます。

このとき、本機のボリューム・コントロールが右に大きく回されているとヘッドフォン・アンプ出力に過大な電流が流れ、過電流検出回路が動作しミュート状態になるとともに故障の原因になります。ヘッドフォン・プラグの抜き差しは、ボリューム・コントロールを左いっぱいに戻すか、入力信号をオフにした無信号状態で行ってください。

### 修理・調整について

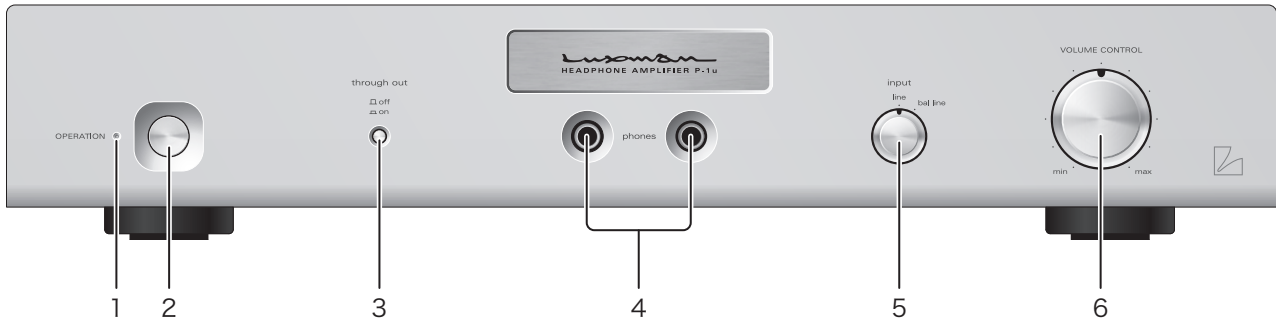
修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービスセンターへご依頼ください。

### お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

## ■各部の名称と用途

### 本体正面



#### 1. オペレーション・インジケーター / OPERATION

電源スイッチをオンした直後の一定時間は準備動作中で橙色に点灯します(この間は音が出ません)。タイム・ミュートが解除され動作状態になると青色に点灯します。

ヘッドフォン出力に過電流が流れたり、DC電圧が発生したり、本機が異常高温になった場合、このインジケーターが橙色に点灯し、ミュート状態になったことを表示します。原因が取り除かれると再び青色に点灯し動作状態になります。

たびたび、動作中にこのインジケーターが橙色に点灯する場合は、弊社サービスセンターにご相談ください。

#### 2. 電源スイッチ / OPERATION

電源をオン/オフするスイッチです。

配線、接続するときには必ずこのスイッチをオフにしてください。

☐ ON : 本機の電源が入ります。  
本機の電源がオンのとき、オペレーション・インジケーターが点灯します。

□ OFF : 本機の電源が入りません。

#### 3. スルー出力・スイッチ / through out

本機のライン入力端子に接続したCDプレーヤーなどの入力信号をスルー出力端子に出力するかどうかを設定するスイッチです。

スイッチをオンにするとスルー出力端子にライン入力信号が出力されます。オフにするとス

ルー出力端子にライン入力信号が出力されません。

電源オフの状態では、このスイッチのオン・オフに関わらず常にライン入力信号がスルー出力端子から出力されます。

また、バランス・ライン入力に接続した入力信号はスルー出力端子から出力されません。

#### 4. ヘッドフォン・ジャック / phones

ご使用になるヘッドフォンのヘッドフォン・プラグを差し込みます。2つのジャックは、同じ音楽信号を出力し、8Ω以上のインピーダンスのヘッドフォンを2本まで同時に動作可能です。

#### 5. 入力切替スイッチ / input

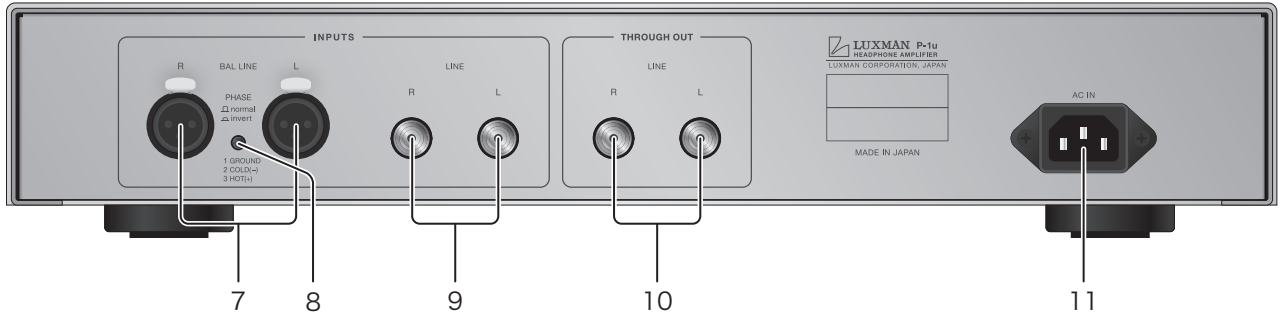
リアパネルにあるライン入力端子(LINE)とバランスライン入力端子(BAL LINE)を選択する入力切替スイッチです。

#### 6. ボリューム・コントロール / VOLUME CONTROL

本機のヘッドフォン出力レベルを調節するつまみです。

最初は左に回しきり、音が出始めてから、徐々に右に回し、お好みの音量に調節してください。また、ヘッドフォン・プラグを抜き差しするときは、このボリューム・コントロールを左に回しきった状態で行ってください。

## 本体後面



### 7. バランス・ライン入力端子 / BAL LINE

ラインレベルのバランス信号を入力するキャノコネクター入力端子です。  
CDプレーヤーなどの入力機器のバランス出力にバランスケーブルを使用して接続してください。

### 8. バランス入力位相切換スイッチ / PHASE

本機に入力されたバランス信号の位相を反転(180°)させるためのスイッチです。normalでは正相、invertでは逆相になります。

normalポジション ……①GROUND

②COLD

③HOT

invertポジション ……①GROUND

②HOT

③COLD

### 9. ライン入力端子 / LINE

ラインレベルのアンバランス信号を入力する入力端子です。  
CDプレーヤーなどの入力機器のアンバランス出力にピンプラグケーブルを使用して接続してください。

### 10. スルー出力端子 / THROUGH OUT

ライン入力端子に接続した入力信号を直接出力する出力端子です。

---

スルー出力信号は、本機のボリューム・コントロールの影響を受けません。

---

### 11. 電源ケーブル接続端子 / AC IN

付属の電源ケーブルを接続します。電源はAC100V家庭用コンセントをご使用ください。

## ■接続方法および接続図

### 接続する前に

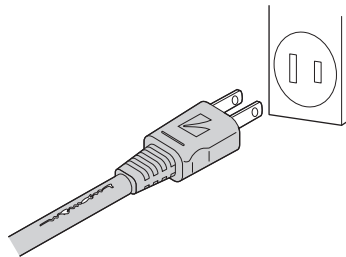
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック側(穴が3つある方)を本機のACインレットに接続してください。

接続するときは、おもわぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源スイッチと入出力機器の電源をすべてオフにしてください。

### 電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、ACプラグをリビングルームなどにあるAC100Vのコンセントに差し込んでください。Luxmanの文字が書いてある方を上向きにしてACプラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的にACコンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子(W表記)になっています。



### 入力機器の接続

光ディスクプレイヤー、CDプレーヤーなどの入力機器の音声出力端子もしくは、コントロールアンプなどの録音出力(REC OUT)端子と本機の入力端子を接続します。機器の出力をRCAピンケーブルで取り出した場合は、本機のライン入力端子に、バランスケーブル(キャノンコネクター)で取り出した場合は、本機のバランス・ライン入力端子にそれぞれ接続します。このとき、入力切替スイッチは、接続した入力または、お聞きになりたい入力にセットします。ライン入力端子に接続した場合はlineに、バランス入力端子に接続した場合はbal lineにセットします。

### ヘッドフォンの接続

ヘッドフォン・ジャックにお手持ちのヘッドフォンのプラグを差し込みます。

ジャックは2ヶ所ありますが、どちらも同じ信号を出力していますので、お好みのジャックに差し込んでください。

ヘッドフォンの適合インピーダンスは、8Ωから600Ωです。

この範囲のヘッドフォンを同時に2本まで使用可能です。

本機は高出力なので、音量には十分気をつけてください。

おもわぬトラブルを防止するため、電源のオン/オフ時、ヘッドフォン・プラグの抜き差し時には、必ずボリューム・コントロールを左に締まり込んでください。

### スルー出力の接続

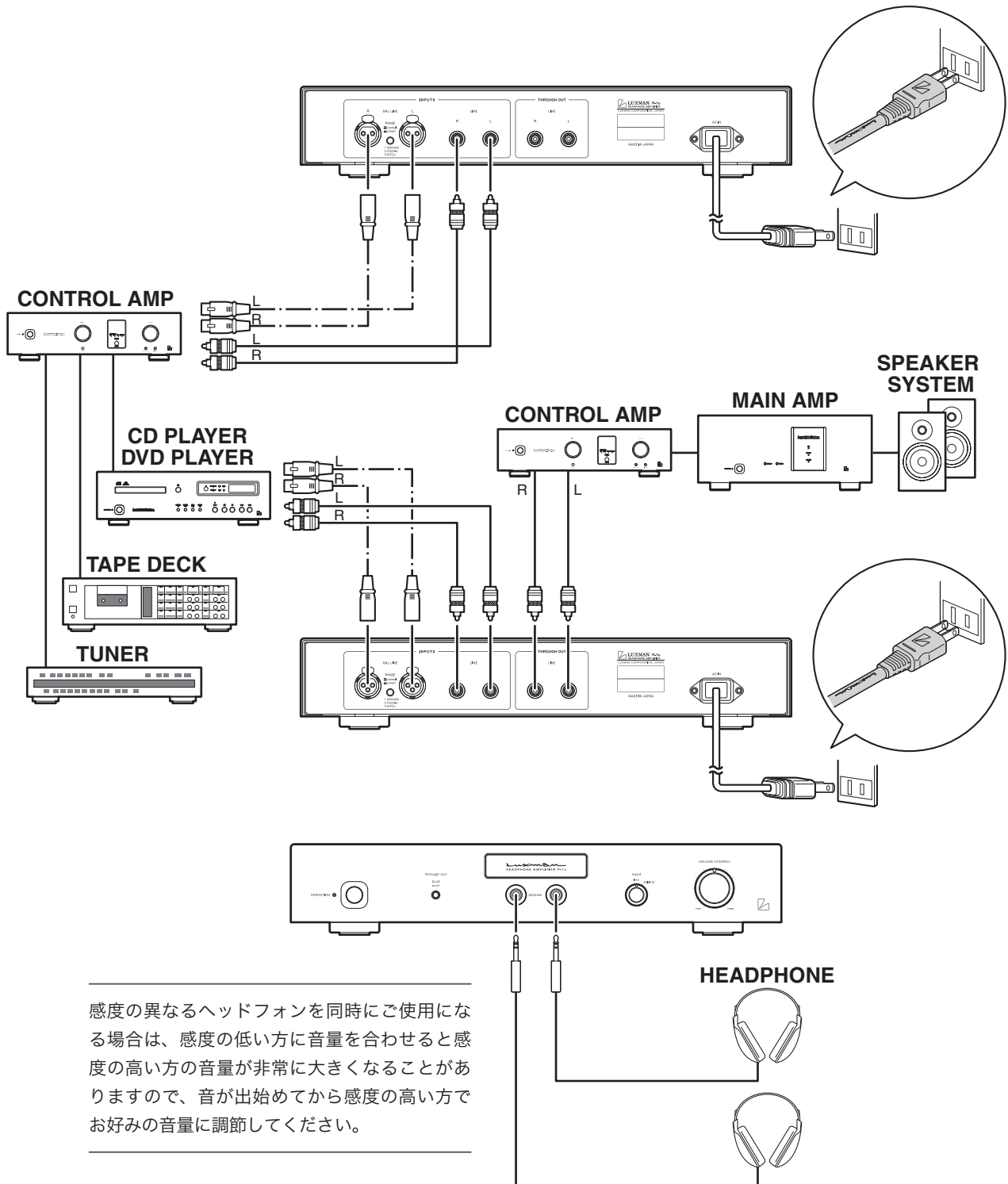
入力機器の出力端子が一系統しかない場合に本機のライン入力端子と接続し、コントロールアンプやプリメインアンプにもライン信号を接続したいときにこのスルー出力端子を使用します。スルー出力端子とコントロールアンプやプリメインアンプのライン入力端子をピンケーブルで接続します。

ヘッドフォンで音楽を楽しむ場合は、スルー出力をオフにします。

お手持ちのスピーカーシステムで音楽を楽しむ場合は、スルー出力をオンにします。尚、本機の電源がオフのときのスルー出力は、スルー・スイッチのオン/オフに関係なくライン入力信号を出力します。

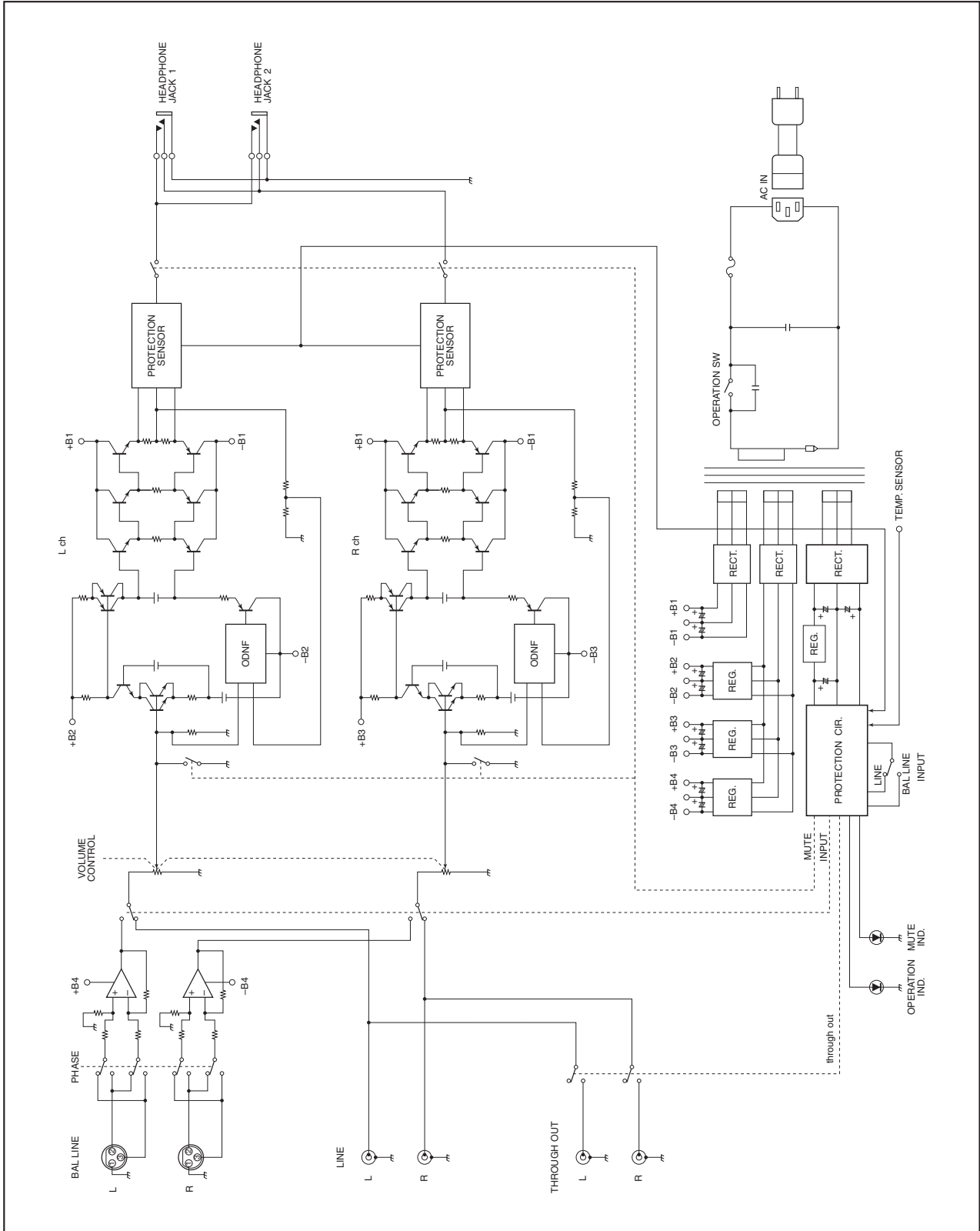
入力機器の出力インピーダンスが大きく、スルー出力に接続した機器の入力インピーダンスが小さい場合には、ヘッドフォン出力が低下します。

ヘッドフォンをお聞きになる時は、スルー出力をオフにすることをお勧めします。



感度の異なるヘッドフォンを同時にご使用になる場合は、感度の低い方に音量を合わせると感度の高い方の音量が非常に大きくなる場合がありますので、音が出始めてから感度の高い方で好みの音量に調節してください。

# P-1u BLOCK DIAGRAM





## ■規 格

連続実効出力	2 W/8Ω, 0.5 W/32Ω
入力感度	1 V(2 W/8Ω, 0.5 W/32Ω)
入力インピーダンス	LINE 26 kΩ (VOLUME CONTROL max./through out OFF) BAL LINE 67 kΩ
全高調波歪	0.0025 %(1 kHz, 2 W/8Ω) 0.02 %(20 Hz~20 kHz, 2 W/8Ω)
周波数特性	20 Hz~20 kHz +0, -0.1 dB(2 W/8Ω) 5 Hz~170 kHz +0, -3 dB(2 W/8Ω)
S/N比	115 dB(IHF-A)
ダンピングファクター	48/8Ω
付属機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘッドフォン・ジャック(×2)</li> <li>・ボリューム・コントロール</li> <li>・入力セレクター・スイッチ</li> <li>・スルー出力・スイッチ</li> <li>・ライン入力(RCA)端子</li> <li>・バランス・ライン入力(キャノン)端子</li> <li>・バランス入力位相切替スイッチ</li> <li>・スルー出力端子</li> <li>・電源スイッチ</li> <li>・オペレーション・インジケータ</li> <li>・ACインレット</li> </ul>
付属品	電源ケーブル(JPA-10000)、安全上のご注意、取扱説明書、保証登録書
電源電圧	AC 100 V(50Hz/60Hz)
消費電力	19 W(電気用品安全法の規定による)/9 W(無信号時)
最大外形寸法	440(W) × 82(H) × 408(D)mm
本体質量	8.3 kg

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

## ■アフターサービスと品質保証について

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービスセンターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご容赦ください。

ラックスマン製品の保証期間は購入日より起算して2年間です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機のパッケージケース内に入っていますので、お買い上げ販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。折り返し、保証書を弊社よりお送りいたします。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

## ■修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスセンターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費等を戴くことがあります。

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを押し ても電源が入らない。	・電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない	・電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。
	・電源プラグがACインレットから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグをACインレットへ確実に差し込む。
電源は入るが音が出 ない。	・ボリューム・コントロールが絞りが切られている。	・ボリューム・コントロールを調節する。
	・接続が確実に行われていない。	・接続を確実に行う。
	・ピンケーブルとバランスケーブルの入力設定が合っていない。	・使用するケーブルの種類に入力セレクター・スイッチを正しく合わせる。
	・コントロールアンプの入力セレクターが合っていない。	・コントロールアンプの入力セレクターを正しく設定する。
	・コントロールアンプなどの入力機器のボリューム・コントロールが絞りが切られている。	・コントロールアンプなどの入力機器のボリューム・コントロールを調節する。
片側だけ音が出ない。	・コントロールアンプなどの入力機器のREC OUT出力がオフになっている。	・REC OUT出力をオンにする。
	・入力機器のバランス・ボリュームが左右どちらかに片寄っている。	・バランス・ボリュームをセンターもしくはお好みのバランスに調節する。
片側だけ音が出ない。	・接続ケーブルの片側だけしか接続されていない。	・正しく接続する。
	・スルー・スイッチがオフになっている。	・スルー・スイッチをオンにする。
スルー出力から信号 がでない。	・スルー・スイッチがオフになっている。	・スルー・スイッチをオンにする。
ヘッドフォン・プラグを 抜き差しするとプロテ クションが動作する。	・ボリューム・コントロールが右に大きく回されている。	・ヘッドフォン・プラグを抜き差しするときはボリューム・コントロールを左に回しきる。
ハム音(ブーン、ま たはジーというノイ ズ)が出る。	・接続ケーブルのアース側が接触していない。	・接続を確実に行う。
	・他機器の電源トランスから誘導ノイズを受けている。	・他機器から離して設置する。
	・ヘッドフォンケーブルと電源ケーブルが接近しすぎている。	・ヘッドフォンケーブルと電源ケーブルを離す。

